

生涯学習プラン 2

第 4 回保育支援コーディネーター養成セミナー実施要項 ～地域における子育て支援活動の連携のために～

1. 趣 旨

生涯学習プラン 2 の「保育支援コーディネーター認定プログラム」における必修科目として企画されたセミナーです。これは「保育支援コーディネーター」の役割を学び、地域における子育て支援活動のプランナーを目指すものです。生涯学習プラン 1 および 2 を受講中の方を対象としていますが、受講予定の方も参加可能です。前回から保育科学研究所の事業である実践研究報告会を同時開催し、発表の場を加えるとともに、更に内容を充実していきたいと考えています。受講により取得する 10 ポイントは 5 年間有効です。

2. 企画・運営 社会福祉法人日本保育協会 生涯学習委員会
(日本保育協会は日本学術会議協力学術研究団体です)

3. 対 象 保育所等の所長・保育士・看護師・栄養士 (いずれも経験年数 3 年以上)

4. 人 員 50 人以内 (先着順。定員に達した場合にお断りすることがあります)

5. 期日・会場 平成 22 年 8 月 11 日 (水)、12 日 (木)、13 日 (金)
〒150-0001 渋谷区神宮前 5-53-1 こどもの城 9 階 研修室

6. 内容・スケジュール

地域の保育を高めるための保育支援とは何かを理解し、その仕事を遂行するコーディネーターとしての専門性と役割について、講義と事例をもとに実践研究を行います。また、少人数のグループ編成により全員参加の役割体験や、シミュレーションによる演習を通じて研究討議します。

スケジュール 【修了後 10 ポイント (再受講者は 3 ポイント) が付与されます】

第 1 日 目 (8 月 11 日)	13:00～13:15	第 4 回保育所保育実践研究・報告会 開会 主催者挨拶 賞状の授与 研究・報告についての講評 野坂 勉 (委員長)
	13:15～13:30	
	13:30～13:45	発表①大宜見正代 (沖縄県)「食育を通して育む思いやりの心」
	13:45～14:00	発表②中積 智子 (京都府)「地域伝承を通じた取り組みについて」
	<休憩>	
	14:15～14:30	第 4 回セミナー 開会・主催者挨拶 オリエンテーション
	14:30～16:00	基本講義「地域社会における保育者・保育所とは」 講師 河 幹夫 (神奈川県立保健福祉大学教授)
<休憩>		
16:15～17:00	グルーピング (事例研究等討議のメンバー編成と自己紹介・情報交換)	

第2日目 (8月12日)	9:30～10:30	専門講義①「感染症予防対策と嘱託医・保護者との連携」 講師 遠藤 郁夫 (日本保育園保健協議会副会長／小児科医)
	10:30～12:30	ワークショップ① (『感染症の手引き』を教材として、登園基準や対応など危機管理について演習)
	<休憩>	
	13:45～14:45	専門講義②「家庭支援の実際と課題」 講師 庄司 順一 (青山学院大学教授)
	14:45～16:45	ワークショップ② (RT 方式による演習：保育士等をいかにサポートするか、各自の園での事例をもとに研究討議) —講義と演習を交互に実施しながら進行する—
第3日目 (8月13日)	9:30～10:30	専門講義③「地域の子育て支援システムと保育力向上をめざして」 講師 高橋 紘 (至誠第二保育園園長、法政大学講師)
	10:30～12:30	ワークショップ③ (地域の保育を高める人的資源等の活用方法と支援システムの構築、計画作成等の実習を行う)
	<休憩>	
	13:45～14:45	総括講義「地域の保育を高めるために保育支援コーディネーターは何をするべきか」 講師 西村 重稀 (仁愛大学教授)
	14:45～16:15	フォーラム (フロアとの意見交換) パネリスト 西村 重稀 渋谷 一美 (堀兼みつばさ保育園主任)
	16:15～16:30	閉会・事務連絡 (受講証明配布)

*各講師は講義にひきつづきワークショップも指導する。

7. 参加費 20,000 円 (受講料・資料代)
8. 申込締切 平成 22 年 7 月 9 日 (金)
9. その他留意事項 全て通修で実施します。食事・宿泊等は各自で手配をお願いします。
10. 申込手続 別紙の申込書にご記入の上、日本保育協会あて FAX にてお送り下さい。
折り返し受講票と郵便振替用紙をお送り致します。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-1 こどもの城 13 階
 社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所生涯学習事務局
 TEL 03-3486-4412 (代) / FAX 03-3486-4415

◎研修科目は変更する場合があります。

第4回保育支援コーディネーター養成セミナー申込書

記入日 平成 年 月 日

「保育支援」 手帳No.	H-				「保育支援コーディネーター認定プログラム」を 受講中の方は左欄をご記入下さい
フリガナ					性別
氏名					男 ・ 女
①自宅住所	〒				TEL FAX
連絡先として①および②のいずれか一方を必ず記入して下さい					
②勤務先所在地	〒				TEL FAX
勤務先名称					現職名(○印を) ・園長 ・保育士 ・看護師 ・栄養士 ・社会福祉主事
通算勤続年数	施設名				年 月
					年 月
					年 月
(計)					年 月
※事務処理欄	申込受付				受講票送付
	受講 No.				入力日
何も記入しないで下さい	入力者				確認者

<アンケート…ご意見・お考えをご記入下さい>

Q.今回セミナーに申し込まれる動機は何ですか。また、今回のセミナーで特に関心のあるテーマは何ですか。

※ご協力有難うございました

「生涯学習プラン」について

日本保育協会では、保育士の国家資格化を受けて日本保育協会保育科学研究所に生涯学習委員会を設置し、保育所職員の生涯学習を支援する「保育所等職員キャリアアップのための生涯学習プラン」を開始しました。

これは、保育所の職員等が「乳幼児の健康と安全」や「地域における子育て支援」等のテーマに沿って生涯学習委員会が指定した各種研修会および学会に参加したり、研究（実践）発表したりすることによってポイントを取得・記録していく仕組みです。

第1弾の「保育所健康安全保育プログラム」では、健康安全保育がますます注目を浴びている折から、保育所等における事故防止や危機管理を中心テーマに設定しております。所定のポイントを確保し「**保育所健康安全保育プログラム修了者**」の認定証を取得することは、保育者の専門性の向上と地域における保育所の評価を高めることに繋がります。また第2弾として、保育士等の専門性をさらに高める「保育支援コーディネーター認定プログラム」がスタートし、「**保育支援コーディネーター**」の認定も開始致しました。

また、保育所保育実践研究報告事業との連携を図り、保育支援コーディネーター養成セミナーの日程にその報告会を加えることで事業の充実を図りました。

改定された「保育所保育指針」では、職場における研修や自己研鑽への取り組みが重視されています。各種の専門的な研修会等への参加は勿論のこと、研究や実践発表も含めて積極的に生涯学習を実践していただくことを願っております。

社会福祉法人 日本保育協会
生涯学習委員会

（問い合わせ先：生涯学習事務局 TEL 03-3486-4412）

< 2010.06.10-10,000 >